

事前評価調書(案)

I 事業概要						
事業名	農業農村整備事業(地盤沈下対策事業)					
地区名	飛島北部地区					
事業箇所	海部郡飛島村大字新政成、服岡、飛島新田、古政成					
事業のあらまし	<p>本地区は、愛知県の南西に位置し、二級河日光川と伊勢湾に接した水田を中心とした海拔ゼロメートル以下の低平地で、排水は自然排水が不可能な状況であり、排水機場による機械排水に依存している地域である。</p> <p>地区内の排水路は、県営地盤沈下対策事業 尾張西南部地区の一環として、昭和53年度から平成3年度に建設された延長約8.7kmの鋼矢板護岸水路であり、整備されてから40年近く経過した路線を中心に腐食による減厚が進み、護岸の耐力が限界に達しつつあるため、周辺の農用地や人家等に被害を与える恐れが生じている。</p> <p>このため、腐食の進行が著しい路線の排水路を改修して排水機能を維持し、災害を未然に防止することにより、農業経営の合理化、民生の安定を図ることを目的とする。</p>					
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>排水機能を維持し、農業経営の安定を図ることを目的とする。 (基準雨量: 341mm/3日、1/20年確率雨量 たん水防除事業 新飛島地区より)</p> <p>【副次目標】(必要に応じて記載する)</p> <p>なし</p>					
事業費	事業費		内訳			
	51.3億円		■工事費 45.1億円、■用補費 2.0億円、■その他 4.2億円			
事業期間	採択予定年度	平成27年度	着工予定年度	平成27年度	完成予定年度	平成36年度
事業内容	<p>排水路工</p> <p>・鋼矢板護岸 L=8,678.0m</p>					
II 評価						
①事業の必要性	1) 必要性	<p>本地区は、地盤沈下対策事業により整備されてから40年近く経過した路線を中心に腐食による減厚が進み、護岸の耐力が限界に達しつつあるため、周辺の農用地や人家等に被害を与える恐れが生じている。排水被害を未然に防止するためには、早急に排水路の更新を行い地区の排水能力を維持する必要がある。</p>				
	判定	A	<p>A: 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B: 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>全ての排水を農業用排水路に依存する地域であり、老朽化した施設を早急に更新し、排水能力を維持する必要があるため。</p>			

②事業の効果	1) 貨幣価値化可能な効果(費用対効果分析結果)	【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析結果】 ■事前評価 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>事前評価時 (基準年: H26)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">費用 (億円)</td> <td>当該事業による費用</td> <td>38.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他費用(関連事業費+資産価格+再整備費)</td> <td>94.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計(C)</td> <td>132.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">効果 (億円)</td> <td>作物生産効果</td> <td>22.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費節減効果</td> <td>-4.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>災害防止効果(農業)</td> <td>197.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>災害防止効果(一般資産)</td> <td>13.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>災害防止効果(公共資産)</td> <td>40.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計(B)</td> <td>268.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(参考)算定要因</td> <td>流域面積(ha)</td> <td>1,012.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>農地面積(ha)</td> <td>558.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>市街地等面積(ha)</td> <td>453.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用対効果分析結果(B/C)</td> <td>2.03</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析手法】 「新たな土地改良の効果算定マニュアル」(平成19年9月農林水産省農村振興局企画部土地改良企画課・事業計画課監修)に基づき算出</p>											区分		事前評価時 (基準年: H26)	備考	費用 (億円)	当該事業による費用	38.1		その他費用(関連事業費+資産価格+再整備費)	94.2		合計(C)	132.3		効果 (億円)	作物生産効果	22.6		維持管理費節減効果	-4.3		災害防止効果(農業)	197.3		災害防止効果(一般資産)	13.0		災害防止効果(公共資産)	40.0		合計(B)	268.6		(参考)算定要因	流域面積(ha)	1,012.0			農地面積(ha)	558.3			市街地等面積(ha)	453.7		費用対効果分析結果(B/C)		2.03																																																																																							
	区分		事前評価時 (基準年: H26)	備考																																																																																																																																															
	費用 (億円)	当該事業による費用	38.1																																																																																																																																																
		その他費用(関連事業費+資産価格+再整備費)	94.2																																																																																																																																																
合計(C)		132.3																																																																																																																																																	
効果 (億円)	作物生産効果	22.6																																																																																																																																																	
	維持管理費節減効果	-4.3																																																																																																																																																	
	災害防止効果(農業)	197.3																																																																																																																																																	
	災害防止効果(一般資産)	13.0																																																																																																																																																	
	災害防止効果(公共資産)	40.0																																																																																																																																																	
	合計(B)	268.6																																																																																																																																																	
	(参考)算定要因	流域面積(ha)	1,012.0																																																																																																																																																
	農地面積(ha)	558.3																																																																																																																																																	
	市街地等面積(ha)	453.7																																																																																																																																																	
費用対効果分析結果(B/C)		2.03																																																																																																																																																	
2) 貨幣価値化困難な効果	なし																																																																																																																																																		
判定	A	A: 十分な事業効果が期待できる。 B: 十分な事業効果が期待できない。																																																																																																																																																	
		【理由】 費用対効果分析結果から十分な効果が期待できる。																																																																																																																																																	
③事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> <th>H36</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">工種 区分</td> <td>調査・設計(古政川排水路)</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水路工(古政川排水路)</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査・設計(3号川排水路)</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水路工(3号川排水路)</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査・設計(政成南川排水路)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水路工(政成南川排水路)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>調査・設計(古川排水路)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水路工(古川排水路)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>調査・設計(服岡川排水路)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水路工(服岡川排水路)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費(億円)</td> <td colspan="5">22.0</td> <td colspan="5">29.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業費について、今後5年間分の事業費と、それ以降の残事業費を記載する。</p>													H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	工種 区分	調査・設計(古政川排水路)	←→										排水路工(古政川排水路)		←						→			調査・設計(3号川排水路)	←→										排水路工(3号川排水路)		←						→			調査・設計(政成南川排水路)						←→					排水路工(政成南川排水路)							←			→	調査・設計(古川排水路)						←→					排水路工(古川排水路)							←			→	調査・設計(服岡川排水路)						←→					排水路工(服岡川排水路)							←			→	事業費(億円)		22.0					29.3				
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36																																																																																																																																							
	工種 区分	調査・設計(古政川排水路)	←→																																																																																																																																																
		排水路工(古政川排水路)		←						→																																																																																																																																									
調査・設計(3号川排水路)		←→																																																																																																																																																	
排水路工(3号川排水路)			←						→																																																																																																																																										
調査・設計(政成南川排水路)							←→																																																																																																																																												
排水路工(政成南川排水路)								←			→																																																																																																																																								
調査・設計(古川排水路)							←→																																																																																																																																												
排水路工(古川排水路)								←			→																																																																																																																																								
調査・設計(服岡川排水路)							←→																																																																																																																																												
排水路工(服岡川排水路)								←			→																																																																																																																																								
事業費(億円)		22.0					29.3																																																																																																																																												
2) 地元の合意形成		本地区は土地改良法に基づく申請事業であり、地元の合意形成は図られている。既存施設の老朽化や、近年の局地的な豪雨の頻度などから早期着手が望まれている。																																																																																																																																																	
3) 環境への影響	自然環境、居住環境に著しい悪影響を及ぼさないよう、低騒音・低振動・排出ガス対策型建設機械の使用などの対策を実施する。																																																																																																																																																		
判定	A	A: 事業計画の実効性が期待できる。 B: 事業計画の実効性が期待できない。																																																																																																																																																	
		【理由】 事業計画に無理がなく地元の合意形成も図られており、実効性が期待できる。																																																																																																																																																	

④事業手法の妥当性	1) 代替案の比較検討結果	降雨等排水を農業用排水路に依存しており、末端排水先の排水機場へとつながる主要水路であるため改修が不可欠であり、比較対象となる代替案はない。	
	判定	A	A：手段に代替性がなく妥当である。又は、手段には代替性があるが当該手段が最も妥当である。 B：手段には代替性があり、改善の余地がある。
		【理由】 代替案がなく最も妥当な事業計画である。	
Ⅲ 対応方針（案）			
事業実施が妥当である。	事業実施が妥当である。：上記①～④の評価ですべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。		
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後 年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 本事業は想定規模と同等の降雨がなければその効果を検証できないため、事業完了後5年以内に想定規模と同等の降雨が発生した場合にその効果を検証する。 【主な評価内容】			
Ⅴ 事業評価監視委員会の意見			
Ⅵ 対応方針			